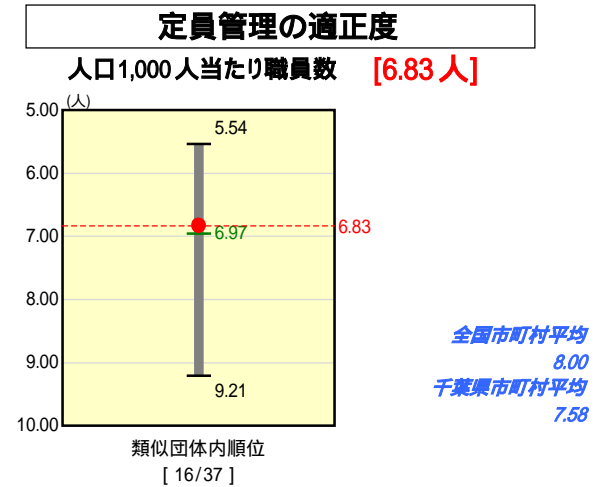
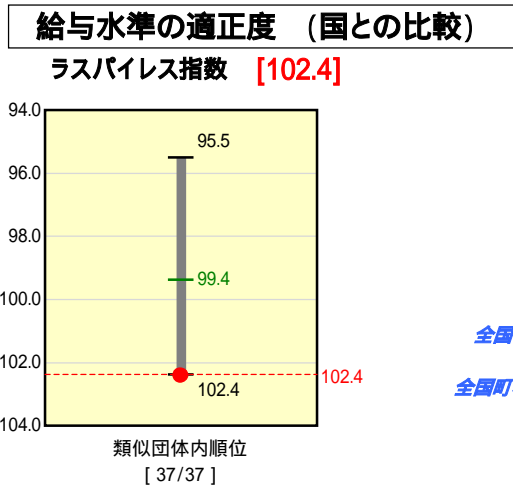
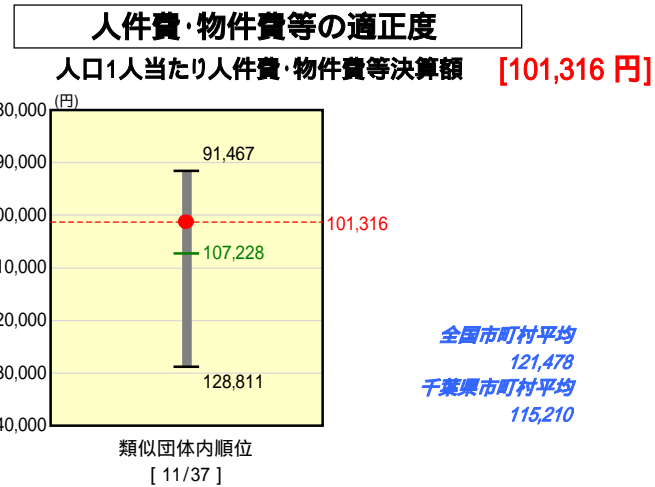
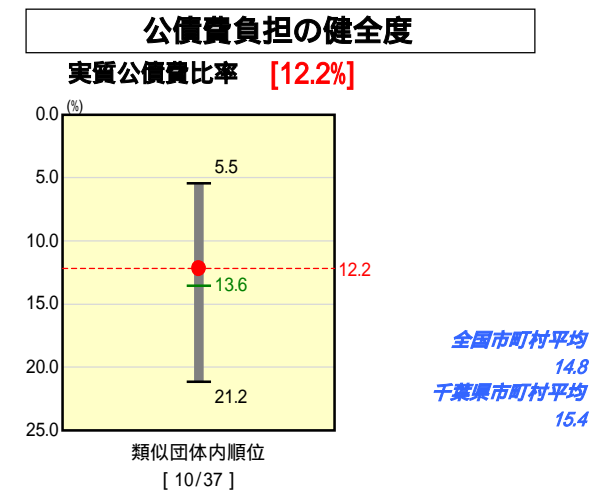
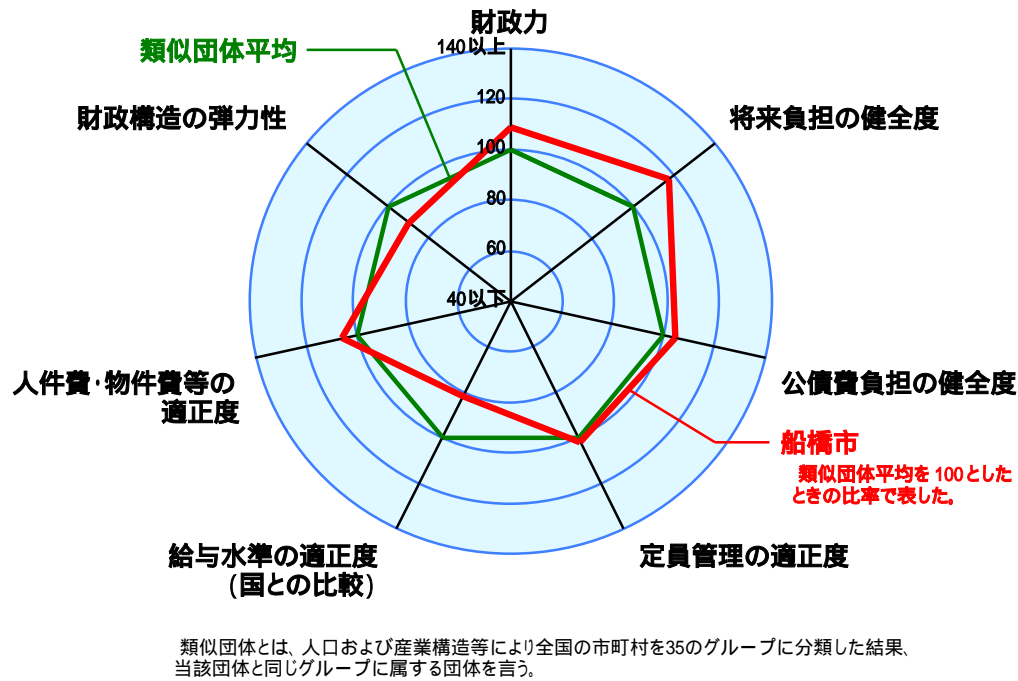
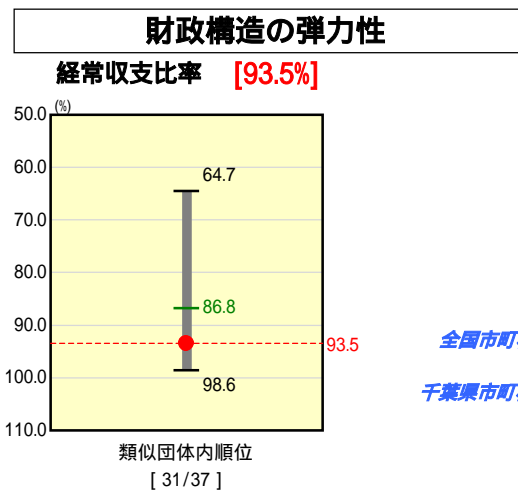
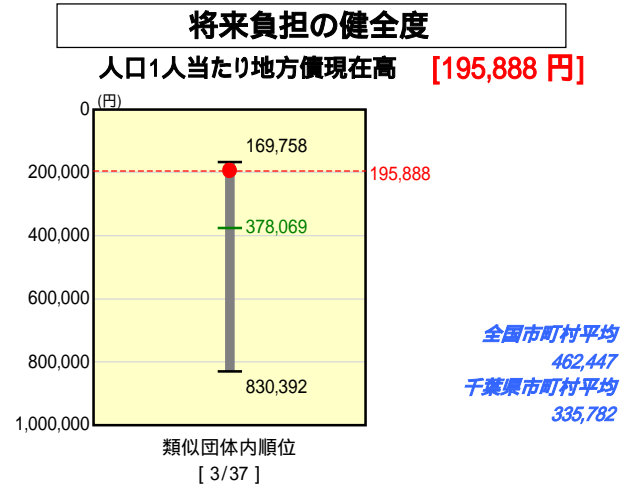
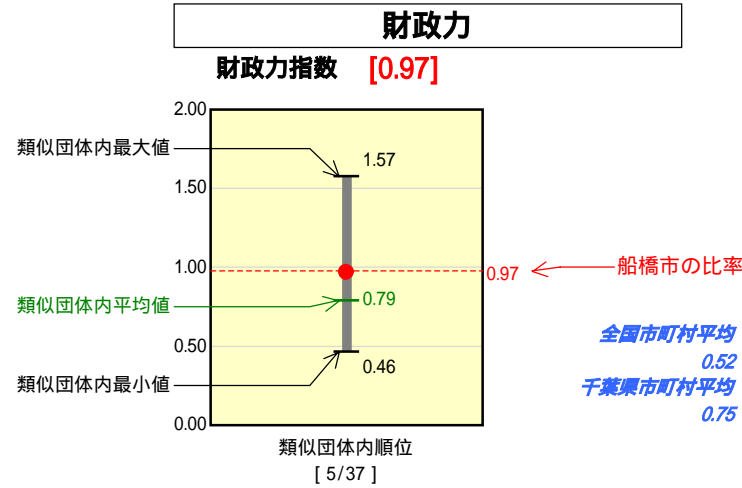


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

千葉県 船橋市

人口	569,750 人(H18.3.31現在)
面積	85.72 km ²
歳入総額	141,165,588 千円
歳出総額	137,342,368 千円
実質収支	3,007,781 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 類似団体平均より0.18ポイント上回っている。これは、交付税制度の見直し等により全体として基準財政需要額の伸びが抑制されているにもかかわらず、本市は市税収入等の基準財政収入額が増加していることから、財政力指数は類似団体平均を上回っている。今後も市税徴収率のより一層の向上に努めるなど税収の安定確保を図り、財政力を維持していく。

経常収支比率: 類似団体平均に比べ6.7ポイント高い93.5%となっている。本市は、人件費にかかる経常収支比率が類似団体で最も高い93.5%となっている。また、下水道事業の公債費財源繰出が他の類似団体と比べて多くなっていることから、繰出金に係る経常収支比率についても平均を上回る12.1%となっており、これらのことが経常収支比率を押し上げる原因となっている。将来にわたり持続可能な健全財政を確立するため、人件費の削減、事務事業の見直しなどにより、85%に引き下げを目標とする。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均と比べ、5,912円少ない金額となっている。人件費については、類似団体の平均額を上回っているものの、物件費、維持補修費については、いずれも平均を下回る額となっていることで、合計額についても平均を下回る額となった。今後、より一層の定員管理・給与の適正化により、人件費の削減に努める。

ラスパイレス指数: 国が平成18年4月より導入した給与構造改革が、本市では未実施だったこと(平成19年4月導入)、この時点で給料表自体が国と異なる独自表であること(平成19年4月切り替え)、職員構成が国と異なること等によりラスパイレス指数が高い値となった。平成19年4月に国と同様の給与構造改革を実施したことにより、今までラスパイレス指数を高めていた高齢層職員の給与が抑制されることとなることから、長期的にはラスパイレス指数は低下する見込みであり、引き続き給与全体の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 建設にかかる地方債が類似団体平均を大きく下回っていることにより、人口1人当たりの地方債現在高も平均を大きく下回る195,888円となっている。引き続き、後年度の財政負担を考慮し、地方債の発行抑制に努める。

実質公債費比率: 公営企業とりわけ下水道事業に係る公債費の償還財源として繰り出される額(=準元利償還金)が多くなっているものの、普通会計に属する地方債発行額が少ないため、その償還にかかる額(=公債費)は低く押さえられており、実質公債費比率は類似団体の平均より1.4ポイント低くなっている。今後は、普通会計以外の会計での公債費の状況も十分考慮した財政運営に努める。

人口1,000人当たり職員数: 非常勤、臨時職員の活用、委託の推進等による削減を進め、地方行政方針に掲げられている4.6%の削減率を上回る350人(約7.4%)を目標とした定員適正化計画の達成を目指し、更なる職員削減に取り組んでいるところである。